



瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会

発行責任者：自治会会長 三木 清

編集委員：山下 貴美子 長谷川 泊巳

発行日：平成 29 年 6 月 15 日

自治会便り 第 38 号

学び方を学ぶ

学ぶことには、知識を学び理解するということと、学んだ知識を生活の中に活用するということの 2 つの側面があります。理解と活用は車の両輪のようです。大学院では、学習による自身の生活の充実と共に、その学びを地域での生活に活用して、参画と協働の地域づくりに貢献できる人材の育成を目指しています。

地域活動講座では、少人数の学生が集まり、講師の指導のもとで、各自関心のあるテーマを研究し、発表・討論をするゼミ形式をとっています。予想、計画、実践、反省などの各段階には、進め方のポイントがあり、そのポイントは活動の場所や内容が変わっても同じです。大学院での学びが地域生活の様々な場所や場面で活かせることを期待します。

大学院は 2 年間です。短い期間の中で学友との絆を深め、充実した学生生活を過ごされますよう願っています。

三木市高齢者大学事務局教務副主任 橘田 和典



自治会会長の所信

この 4 月に 8 名の新生を迎えました。少ないことは事実ですが、少数精鋭という言葉もあるように、前向きに新生を受け止めたいものです。自治会運営についても、多少の支障もあるものの、2 年生の協力のもと、院生一丸となって歩いていく決意です。高大新生も 39 名ということをおよび、院も高大も学生数減少は避けられないのが現実ではないでしょうか。

昨今の高齢者の思考の変化という時代背景があるのではないかと考えます。故に、自治会も組織をシンプル、行事についても「量より質」を目指し、具体的には、役員数の縮小（兼務）・行事内容の充実・行事目的の明確化（バス研修旅行⇒バス親睦旅行）・クラブ活動の活性化（存続）などに取り組んでまいります。また学校教科として実施されています「館外講座」・地域貢献をめざす「地域活動」、対外的には、市老連・市行政等との関連の密度を深めていきたいものです。以上、あまり肩肘張らずに、院らしい簡素化された組織のもと、新しい発想を取り入れた運営をめざす所存です。皆様のご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。 自治会会長 三木 清



少数精鋭で頑張れ

三木市高齢者大学を卒業し大学院に進学して自分自身を、もう少し鍛えてみたく、入学いたしました。ところが副会長の大役を仰せつかり戸惑っています。大学院 11 期の入学生は 8 名とゆう少人数で、これからの大学院自治会の運営ができるのか不安が一杯です。しかし現実を変えようがなく、何とかこの 8 名で努力して行こうと考えています。「少数精鋭で頑張れ」と激励を受けます。聞くのは簡単ですが、行うのは難しい事が多々あると思いますが、前を見て進んで行こうと思っています。第 11 期生はもとより、皆様のご指導応援をよろしくお願い致します。

自治会副会長 立石 勲



シャフルボードとの出会い

私がシャフルボードを知ったのは、昨年5月の大会を「欠席」と返事したのがはじまりです。皆さんから実行委員に当たっているから「欠席はダメ」と言われ、生まれて初めて競技しました。

今年の大会は一年生の参加が3名で、最初は不安そうでした。でも、帰りには「楽しかった」「今度は皆を誘って来ます」と言われました。シャフルボードの良さは雨など天候に左右されないことです。又、高齢者になっても充分できることです。打つ時の音はストレス発散になります。



難を言えば準備に手間がかかり重いことです。どの地区も用具は老人会が管理しており、高齢者大学にも2セットあります。又、参加人数が多くなったときは他から借りるのが現状です。

何はともあれ楽しかった1日でした。次回は新年会を兼ね2018年1月19日(金)に予定していますので、奮ってのご参加をお願いします。

2年 福田 節夫

大学卒業後・6年ぶりに大学院に入学

私は、大学を平成19年4月(73歳)第18期生として入学。卒業後6年が経ち、本年4月(83歳)に大学院第11期生として入学いたしました。私は、旧三木町に生まれ住んでおります。周囲は三木市の原点である大工道具を主とした産業で生計を立てておられる方が多く、家業も金物卸業を先祖より受け継ぎ、現在に至っております。また、33歳で製造部門を立ち上げました。三木市も開発が進み、他市より多くの方たちが三木市に居住を移され、地域のため、汗を流しておられます。

昔より住んでいる私は、いつまでもこの殻の中ではダメだと考えました。この方達との接点は高齢者大学しかないと考え、少しでもこの方達のエネルギーを吸収してこの人生を歩みたいと思い、平成19年に入学いたしました。入学後、いろいろな経験や趣味をお持ちの方達と交流が始まりました。

楽しく嬉しかったです。しかし、製造部門が忙しくなり、少しでも協力したいと思い大学院を諦めました。昨年末で卸部門・製造部門とも退職し、完全に無職になりましたので、本年1月に学校に大学院資格の問い合わせをしましたら、OKが出ましたので、再び楽しい大学院生活を送ることが出来ました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

1年 武原 弘和



古式鍛錬



金物と山田錦の
エンブレム
=久留美バス停=

春季親睦旅行 京都の旅 将軍塚青龍殿 建仁寺 京都御所

6月2日、前日の雨もあがり絶好の天気恵まれ、先生方と1・2年生合わせて34名が京都に向かって出発。最初の目的地は将軍塚青龍殿。将軍塚の歴史は古く、造られたのは平安時代だそうです。青龍殿は大正天皇の即位を記念して建立されたものを、平成26年に将軍塚のある東山山頂に移築再建され、京都の新名所として誕生。大舞台からは京都市街が一望でき、雄大な眺めと新緑の美しさに皆感激しました。次は京都最古の禅寺建仁寺。法堂天井画の双龍



建仁寺にて

図、風神雷神図、雲龍図をはじめとする襖絵等見どころが一杯。歴史の重みを感じる建物と手入れの行き届いた庭園も見応えがあった。最後に御所を見学、面積は11万㎡、檜皮葺の厳かな建物は明治維新までここが都として天皇がお住まいになっていたのかと想像しながら見て回りました。古都京都の景色にふれ、1・2年生の親睦が深まった有意義な1日になりました。

2年 後藤 幸代